令和８年度 第３回 藤沢市地域福祉計画推進委員会
【議事要旨】

Ⅰ．開催概要

１．日　時　　２０２６年（令和８年）１０月２３日（金）１４時００分～１５時０５分

２．会　場　　藤沢市役所　分庁舎２階　活動室１・２

３．委　員

（１）出席者＝１７名

・会場出席者

平野　友康、石井　由佳、奥田　吉昭、平郡　康江、吉田　展章
木村　依子、小山　八千代、吉田　厚治、澁谷　晴子、山口　燿子
橋本　良子、樋口　敬子、木幡　秀夫、松沢　邦芳、津島　徹
上岡　留美子、安室　康子（オンライン）

・欠席者＝３名

椎野　幸一、長尾　敏明、竹川　由紀

４．議　題

１．開　会

（１）開会挨拶

２．議　題

（１）次期計画の素案について

【資料１－１】次期計画の素案について
【資料１－２】令和８年度第２回委員会の議事要旨
【資料１－３】各個別計画との対応表（いきいき長寿プラン）
【資料１－４】各個別計画との対応表（ふじさわ障がい者プラン）
【資料１－５】各個別計画との対応表（子ども・若者共育計画）
【資料１－６】委員からの意見提案
【資料２】（仮称）藤沢市地域共生社会推進計画【藤沢市地域福祉計画２０３２】素案）

（２）今後の地域福祉に関する推進体制について

【資料３】今後の地域福祉に関する推進体制について

（３）パブリックコメントについて

【資料４】パブリックコメントの実施について

（４）藤沢市重層的支援体制整備事業実施計画について

【資料５】（仮称）藤沢市重層的支援体制整備事業実施計画２０３２（素案）

３．閉　会

Ⅱ．会議の概要（議事要旨）

１．開　会

事務局の開会挨拶の後、議事に入った。

２．議　題

（１）次期計画の素案について

≪資料１－１について事務局より説明≫

○松沢委員

他の計画との対応表を見て、非常に分かりやすく出来ていて、リンクしていることが良く分かった。29 ページのイメージ図が加わり、柔らかいイメージがあって、見た人も意図を理解しやすいと思う。

（２）今後の地域福祉に関する推進体制について

≪資料３について事務局より説明≫

～　意見なし　～

（３）パブリックコメントについて

≪資料４について事務局より説明≫

～　意見なし　～

（４）藤沢市重層的支援体制整備事業実施計画について

≪資料５について事務局より説明≫

○吉田委員

昨年度まで出ていた地域包括ケアシステム推進会議では、色々な課が参加していたので、各課での課題と課題に対する進捗状況を知ることが出来たが、今後はこの会議で各課の報告がされるのか。

重層的支援体制の具体的施策における実施・連携機関（事業）一覧について、誰がどのようなプロセスで作成するのか確認したい。今後、高齢化や障害のある人の増加により支援体制の人員不足が懸念される中、各分野が個別に検討するだけでなく、分野横断的な協議・連携を進めることが重要である。

支援会議について、本人の同意が得られないケースへの対応に加え、多機関協働による支援プランを作成する会議が実際に行われているのか確認したい。また、会議で明ら

かになった地域課題がどのように共有・検討されているのか、現在の運用状況と今後の方針について教えていただきたい。

〇事務局
　具体的な関係機関や事業については、現行計画の内容を基本としつつ、庁内への照会を行い、必要な事業を追加・充実させる形で掲載することを考えている。事務局が一方的に事業を決定するのではなく、庁内への照会を通じて、障がい分野や高齢者分野など、関連する部署と調整しながら、掲載する事業を選定していく。
　また、支援会議と重層的支援会議については、いずれも開催されている。具体的な開催実績については、必要に応じて昨年度などの数値を確認し、お示しすることが可能だが、重層的支援会議の開催件数については、毎年度のモニタリングにおいて実績報告を受けて公表している。

〇事務局
　これまで、地域包括ケアシステムの庁内会議と地域福祉計画の庁内会議は、福祉部の関係課を中心に開催してきたが、今回、地域包括ケアシステムを再編・統合に伴い、地域共生社会の実現に向け、全庁的な体制の拡大した形を考えている。そういうことから、これまでの分科会のような形で抱えている課題を細かく吸い上げ、庁内で共有していく。また、市民センターにも福祉部の職員を配置しており、リアルな地域の生活課題を吸い上げ庁内連絡会で検討する。さらに、本委員会でも共有し、地域の実情を踏まえて地域福祉を推していく考えである。

〇澁谷副委員長
　地域別計画素案の 29 ページに、目指すべき将来像をイラストで分かりやすく示していただいているが、描かれている人物が日本人のみである点が気になる。海外の事例では、肌の色や人種の異なる人々が描かれていることが多い。今回の計画は、特に外国人住民について言及するものではないが、地域や誰もが安心して暮らせるという理念には、外国人住民も当然含まれていると考える。イラストは視覚的に分かりやすいがゆえに、外国人住民も含めた多様性が伝わる表現に見直してはどうか。

〇事務局
　イラストを調整して、提示したいと思う。

〇石井委員
　パブリックコメントにおいて、若者の意見を聞くための工夫をされていることは理解した。一方、認知症基本法で、認知症のある方の声を丁寧に聞くことが重要とされてい

る点について、何か配慮されている部分があれば教えていただきたい。

○事務局

認知症については、高齢者の方でいきいき長寿プランという計画を作っているので、そちらの計画の担当者と共有をさせていただきたい。

３．閉会

○事務局

次回は来年１月 15 日、場所は本庁舎５階、5－1 号の会議室となる。